

第11回 子どもシネマスクール in 豊島

プロといっしょに 映画をつくる

参加者募集!!

子どもの時にこそ本物との出会いが大切です！
 本講座の「子どもシネマスクール」では、参加者の皆さんに新人助手ということで、各パートのプロ達について“ヨーイスタート”をかけたり、カチンコをうったり、レフを当てたり、色々なことを体験していただきます。又、シナリオの読み合わせ・演技指導のあと映画も出演してもらいます。あなたもこの機会に自分の中に眠っている才能を見つけませんか。

期間：平成27年3月22日(日)・27日(金)～4月4日(土) (全9回)

〈 3月27日～4月4日のうち1日休みがあります 〉

指導者



映画監督
後藤俊夫

『マダチ』『こんごら、ハ・マコ』『イタズ』『オ・ロウの下で』『11月7日の夕べ-ちんぽん』『Beauty-美しきもの』

他



実施場所

豊島区雑司が谷地域文化創造館 他

東京都豊島区雑司が谷3-1-7 千登世橋教育文化センター内 「東京メトロ 副都心線 雑司が谷駅」2番出口直結

定員 **20名** (人数に達し次第締切)

参加費

無 料

対 象 **中学～高校生 男・女**

応募方法

官製ハガキ又はFAXで①シネマスクール申込み②〒住所③名前(フリガナ)④性別⑤学校名⑥学年⑦電話・FAX番号をご記入のうえお申し込みください。

宛先：〒163-8691 東京都新宿郵便局私書箱 164号「NPO法人日本映画映像文化振興センター」宛 FAX：042-344-3399

これまでの作品は、当法人ホームページ (<http://www.eibunsin.com/>) にてご視聴いただけます

主催・問合せ



NPO法人
日本映画映像文化振興センター
TEL.03-3200-2118 FAX.042-344-3399
〒163-8691 東京都新宿郵便局164号
<http://www.eibunsin.com/>

共催：公益財団法人 としま未来文化財団
後援：豊島区・豊島区教育委員会





	日程	時間	内容
2015年	3月22日(日)	9:00~16:00	オリエンテーション・映画上映・講座 他
	3月27日(金)		シナリオの読み合わせ・演技指導 他
	3月28日(土)		撮 影
	~4月4日(土)		

3月27日~4月4日のうち、1日休みがあります。

子どもシネマスクールのこれまで

回・年度	タイトル(分数)	スタッフ・キャスト	実施地区
第1回 平成14年度	「ぼくらの夏休み」(23分)	スタッフ…監督:後藤俊夫 他 キャスト…金子吉延 草薙仁 他	西東京市
第2回 平成15年度	「パチ!パチ!」(65分)	スタッフ…監督:及川善弘 撮影監督:長田勇市 美術監督:木村威夫 他 キャスト…石濱朗 杉義一 南原健朗 久保明 他	世田谷区
第3回 平成16年度	「きらきら談話室第1話 今日からはじまる」(44分)	スタッフ…監督:五十嵐敬司 撮影監督:伊藤嘉宏 美術監督:木村威夫 他 キャスト…上月左知子 石濱朗 中真千子 山浦栄 他	新宿区
第4回 平成17年度	「講談少年/パンパン」(75分)	スタッフ…監督:瀬川昌治 撮影監督:伊藤嘉宏 美術監督:木村威夫 他 キャスト…千葉繁 辰巳琢郎 斉藤清六 出光元 俵山栄子 他	多摩市
第5回 平成18年度	「きらきら談話室第2話 ビタミン・愛」(35分)	スタッフ…監督:五十嵐敬司 撮影監督:伊藤嘉宏 美術監督:木村威夫 他 キャスト…上月左知子 石濱朗 久保明 杉義一 高野真二 他	新座市
第6回 平成19年度	「五月の空」(49分)	スタッフ…監督:松林宗恵・瀬川昌治 美術:木村威夫 撮影:満井坦彦 他 キャスト…板倉光隆 俵山栄子 野村信次 世志凡太 斉藤清六 他	調布市
第7回 平成20年度	「ぼくらの自転車日記」(38分)	スタッフ…監督:後藤俊夫 撮影監督:伊藤嘉宏 美術監督:木村威夫 他 キャスト…石濱朗 上月左知子 南原健朗 板倉光隆 草薙仁 他	立川市
第8回 平成21年度	「きらきら談話室第3話 よさこいの向こうに」(38分)	スタッフ…監督:後藤俊夫 撮影監督:伊藤嘉宏 美術監督:木村威夫 他 キャスト…石濱朗 久保明 上月左知子 石浜美希 泉水美和子 寺本純菜 他	豊島区
第9回 平成23年度	「きらきら談話室第4話 笑顔がいちばん」(52分)	スタッフ…監督:坂下正尚 撮影監督:伊藤嘉宏 美術監督:林 隆 他 キャスト…上月左知子 石濱朗 よの森あかね 横須賀泰希 中根一樹 他	武蔵野市
第10回 平成24年度	「きらきら談話室第5話 唐がらしのまち」(40分)	スタッフ…監督:坂下正尚 撮影監督:伊藤嘉宏 美術監督:林 隆 他 キャスト…上月左知子 石濱朗 板倉光隆 高橋美来 浅田晴香 服部幸子 他	新宿区

◎上記の作品は、当法人ホームページ (<http://www.eibunsin.com/>) にてご視聴いただけます。

~ドラマの内容についての思い~

子どもシネマスクール プロデューサー:竹下資子 (映文振センター 副理事長)

現代人は、好むと好まざるとに関わらず、情報の渦の中にいます。子どもたちも然りで、テレビをつければ世界中の出来事が目に飛び込んで来ます。

ニュースは連日大人たちの不条理を日常あるいは普通の出来事のように伝え、子どもたちは赤ん坊の時からそれを見ています。子ども達の世界は大人の縮図です。大人が、彼らを憂える前に、自分たちの日々の行いを見直してほしいと思います。人間として正しいか、天下に恥じない行いをしているか。

子どもたちは悪い子で生まれてきません、生まれた時は皆真っ白です。

親、教師はもとより、もっと地域で、子どもたちを育てるべきで、何かを教えようとする前に、大人が正しく生きようとする姿勢が、何よりの教育なのではないでしょうか。

子どもたちは、何もかも見ていて、環境で育つのだと思います。

そんな気持ちから私は、いつも「子どもシネマスクール」のドラマの内容を企画してきました。